

創業16年を迎えたFPC そのトップを走り続ける2人の素顔に迫る！



フロンティアパートナーグループ代表

総務経理グループ

税理士法人FPC代表社員

井上 理 × 穴吹 安梨 × 大平 渉

OSAMU INOUE ANRI ANABUKI WATARU OHIRA

穴吹 事務所創立から16年経ちます。現在のお気持ちは？

井上 中村さんは、ハローワークから何人か応募があったなかで採用したんだけど、妻がすごくおすすめてくれて一緒に始めた感じかな。

大平 僕も、ハローワークから何人か応募があったなかで採用したんだけど、妻がすごくおすすめてくれて一緒に始めた感じかな。

井上 あつという間だったね。独立したとき売上が数千万円とかなかったのが気付いたら、何倍かになつていて、すごい成長したなというのと、仲間が増えたなという感じですかね。

大平 僕は五年前からですが、本当にあつという間だったなと思つてます。なににより皆に会えたのが僕は嬉しいかなつて。たまにお酒を飲んで帰つてくるときに、いつまでも皆といられないのかなつて寂しくなつたりして、一日一日を大事にしたいな、とか思います。

大平 僕は税務部門にお伝えしたいと思つているのが、僕らがやっていることっていうのは結構すごいことなんだよって自分達はもつと思つてもいいのかなつて思っていますよ。十勝でもある程度規模の大きいお客さんにも関与させていただいていて、経営者の方達に寄り添つていく、時に僕らが経営者の頭脳であったり参謀を担っているの、普段やっている業務も実はものすごく価値があつて、誰でもできるような得意なやつってのがあつて、もっと自信を持ってやって、お客さんと共に成長していくというのをやっていきたいと。僕の中の夢っていうのは元気に明るくいきいきとした職場の中で、皆と一緒に一つの目標に向かってそれぞれがそれぞれの持ち場で心から燃えるような集団になつていきたいと思つています。

大平 親父と二人で開業したんですけど、税務なんてやったこともないなかで、とにかく意気込みだけで始めて、三年かけて売上が数千万つて感じでした。

井上 最初、税理士登録もしないで帯広に帰つてきちゃつて、食えないからつうちでバイトしてたんだから笑。

井上 何をもちつて北海道一番になるのかつてもあるけど、俺は、北海道で一番良い仕事をするような事務所になれば、結果として一番の事務所になつてくる気がするんだよね。自分ひとりとか、家族で食べていくのもやつつて世の中、従業員を雇つてその家族の面倒を見てさらに税金を支払わなければならぬ人達がいて、そういう人達が日夜頑張つてつてことを考えると、そういう人達を少しでもサポートできる集団になればいいのかなと思つています。結果としてやつてる人達も人の役に立つてる実感を持ってやりがいがある。そんな事務所に近い感じでいきたいなと思つよ。自らが商人を実践することでお客さんと同じ目線でアドバイスができる。そういう革新的な会計事務所を創

穴吹 大平会計の創業当時の雰囲気は？

大平 北海道ナンバー1を掲げずFPCですが、今後の展望は？

大平 僕も、ハローワークから何人か応募があったなかで採用したんだけど、妻がすごくおすすめてくれて一緒に始めた感じかな。

井上 最初は自宅の離れの築40年の建物を少し綺麗にして、大きい机を一つだけ置いて、一人で開業してすぐに中村里美さんを採用して二人で始めたつて感じ。それから半年後くらいに、阿部会計を引き継がせてもらつたんだよ。

井上 最初、税理士登録もしないで帯広に帰つてきちゃつて、食えないからつうちでバイトしてたんだから笑。

井上 何をもちつて北海道一番になるのかつてもあるけど、俺は、北海道で一番良い仕事をするような事務所になれば、結果として一番の事務所になつてくる気がするんだよね。自分ひとりとか、家族で食べていくのもやつつて世の中、従業員を雇つてその家族の面倒を見てさらに税金を支払わなければならぬ人達がいて、そういう人達が日夜頑張つてつてことを考えると、そういう人達を少しでもサポートできる集団になればいいのかなと思つています。結果としてやつてる人達も人の役に立つてる実感を持ってやりがいがある。そんな事務所に近い感じでいきたいなと思つよ。自らが商人を実践することでお客さんと同じ目線でアドバイスができる。そういう革新的な会計事務所を創

穴吹 井上会計の創業当時の雰囲気は？

井上 最初は自宅の離れの築40年の建物を少し綺麗にして、大きい机を一つだけ置いて、一人で開業してすぐに中村里美さんを採用して二人で始めたつて感じ。それから半年後くらいに、阿部会計を引き継がせてもらつたんだよ。

井上 何をもちつて北海道一番になるのかつてもあるけど、俺は、北海道で一番良い仕事をするような事務所になれば、結果として一番の事務所になつてくる気がするんだよね。自分ひとりとか、家族で食べていくのもやつつて世の中、従業員を雇つてその家族の面倒を見てさらに税金を支払わなければならぬ人達がいて、そういう人達が日夜頑張つてつてことを考えると、そういう人達を少しでもサポートできる集団になればいいのかなと思つています。結果としてやつてる人達も人の役に立つてる実感を持ってやりがいがある。そんな事務所に近い感じでいきたいなと思つよ。自らが商人を実践することでお客さんと同じ目線でアドバイスができる。そういう革新的な会計事務所を創

穴吹 中村里美さんと出会うきっかけは？

井上 里美ちゃんとの出会い？笑

